



もしかしてコロナ感染？と思ったら

寒くなるにつれ、カゼ症状がみられる生徒が増えてきています。朝の健康チェックで「カゼあり」と入力して登校する生徒もいるようです。カゼ症状があるときは登校を控え、治るまでは自宅で休養するようにお願いします。

本校でも、コロナウイルス感染症にかかる生徒が出てきています。のどが痛いだけで発熱がなくても感染しているケースもみられますので、もしかして感染したかもと思ったら、国が承認した検査キットを用いてセルフチェックをお願いします。自己検査で陽性または有症状の場合は、医療機関に電話の上、受診をお願いします。18歳以上で、自己検査で陽性かつ無症状（体温37.5℃未満で投薬不要の軽症者を含む）の場合は、陽性者登録・フォローアップセンターに申請をお願いします。

検査キットを選ぶ際の注意点 →表示を確認！



体外診断用医薬品



第1類医薬品



研究用

検査キットを購入する際は、医療用または一般用検査キット（OTC）として国が承認したものを使いましょう。医療用は薬局で、OTC（「体外診断用医薬品」または「第1類医薬品」と表示されています）は薬局やインターネットで購入できます。インターネット販売サイト等では「研究用」と称するものが多く販売されていますが、国で承認されたものではなく、性能等が確認されていないため、購入の際は必ず表示の確認をお願いします。

感染症予防の3原則！

感染経路の遮断

手洗い、手指消毒、マスク



感染源の除去

人との密な接触や人混みを避ける

抵抗力を高める

十分な栄養・睡眠、適度な運動



朝の検温と健康チェックも
忘れずに入力してください

【もしものときのために準備しておくよいもの】

- ・体温計
- ・薬（常用している薬、解熱鎮痛薬など）
- ・検査キット（「体外診断用医薬品」または「第1類医薬品」と表示のあるもの）
- ・日持ちする食料（5～7日分）、スポーツドリンク



性教育講話を行いました



今年も白山市で助産院を営まれている助産師で思春期保健相談士の川島真希先生をお迎えして、1年生と2年生を対象に性教育講話を行いました。

1年生は性の多様性や男女別の性に関する悩み、命の誕生について、2年生は性感染症や望まない妊娠、性暴力(デートDV)についてお話をいただきました。一人ひとりが自分のこととして考え、正確な知識を身に付けることができたように思います。

講話後に書いてもらった感想には、「自分が生まれてきたことは奇跡である」「いろいろな性のあり方がある」「ひとりで抱え込まずに相談することが大事」「嫌なことはNoと言ってい」「子どもは1人では絶対に生まれない」「困ったら1人で悩まずに相談すること」「相談できる人を3人見つけておくこと」「おへそは誰かとつながっていた証」など、それぞれの心に響いたことがつづられていました。今回の学びを忘れずに、自分らしく、すてきな人生を歩んでくださいね。



SNSでの出会い・書き込みに注意



傷つかない

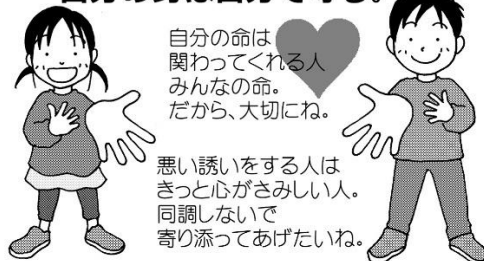
冬 休 み

傷つけない

にんしん せいがんせんしやう リスク
妊娠・性感染症という危険。



自分の身は自分で守る。



思いやりって何？
優しさって何？
自分も相手も大事にすること。相手のことを理解し尊重した言葉や行動がとれること。

性教育講話を聞くと、一人ひとりが大切な存在であるということを改めて感じます。もしも困ったことがあったら、誰かに相談しよう。一緒に考えよう。命は大事。忘れないでね。

冬休みは、いろいろな誘惑が多い時期です。でも何か行動する前に、ちょっと冷静に考えてみることでいいなと思います。一瞬の楽しいことの後に、一生の後悔が待っているかもしれません。誘惑に流されず、責任ある行動がとれる人でいてほしいと思っています。

受診勧告のお知らせをもらって、まだ受診していない人は、必ず冬休みに受診してください！